小6理科 大地のつくりと変化 No.1

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1 地震による災害の具体的な例として、正しく説明しているものはどれですか。

- ○ 地震のあとに、強い風が吹き荒れて、高潮が発生すること。
- ○ 地震のあとに、溶岩が流れ出したり、火山灰がふり積もったりすること。
- ○ 地震のあとに、大雨が降り続いて、川の水があふれ出すこと。
- ○ 地震のあとに、火災が起きたり、津波が発生したり、山くずれが起きたりすること。

問2 大昔の生きもののからだや、生活のあとが地層の中に残ったものを何といいますか。

- ○ 化石
- ○ 火山灰
- ○ 地層
- ○ 岩石

問3 火山の噴火によってふき出されたものが風に運ばれて積もってできた、角ばった石や小さなあながあいた石、結晶などが含まれる地層を何といいますか。

- ○ すなの層
- ○ れきの層
- ○ 火山灰の層
- ○ どろの層

問4 高い山の上で海の生物の化石が見つかることがあるのはなぜですか。

- ○ 大昔に火山が噴火して、海の底の岩が山の上まで吹き飛ばされたから。
- ○ 大昔はその場所が水底であり、長い年月の間に押し上げられたから。
- ○ 大昔に大雨が降り、海の生物が山の上まで泳いで登ってきたから。
- ○ 大昔に強い風が吹いて、海から化石が山の上まで飛ばされたから。

問5 断層は、どのようなことが起きたときに大地に生じるずれですか。

- ○ 台風が通りすぎたとき
- ○ 大雨が降ったとき
- ○ 地震が起きたとき
- ○ 川の流れが速くなったとき

問6 どろなどの細かいつぶが固まってできた岩石を何といいますか。

- ○ 石灰岩
- ○ さ岩
- ○ れき岩
- ○ でい岩

問7 地層ができる主な原因となる、2つの自然現象の組み合わせとして正しいものはどれですか。

- ○ 流れる水のはたらきと、火山の噴火
- ○ 太陽の強い光と、生き物の生活
- ○ 地面の温度変化と、空気の流れ
- ○ 地震の強いゆれと、台風の激しい風

問8 地層をつくっているれきや砂の角がとれて丸みを帯びていることから、地層をつくる原因となったと考えられる自然のはたらきは何ですか。

- ○ 火山のはたらき
- ○ 流れる水のはたらき
- ○ 地震のはたらき
- ○ 風のはたらき

問9 流れる水によって運ばれたれき、砂、どろが水底に積もるとき、つぶの大きさと沈む順番にはどのようなきまりがありますか。

- ○ つぶが小さいものほど先に沈む。
- ○ つぶの大きさに関係なく、すべて同時に沈む。
- ○ つぶが大きいものほど先に沈む。
- ○ つぶが軽いものほど先に沈む。

問10 過去の地震について調べるために、図書館や博物館に行くことのほかに、どのような方法がありますか。

- ○ 星の動きを観察する。
- ○ 地域の人に話を聞く。
- ○ 川の水の流れの速さを測る。
- ○ 空気の温度やしつ度を調べる。

問11 地層をつくっている主なものは、れきや砂のほかに何がありますか。

- ○ 空気
- ○ 落ち葉
- ○ 鉄
- ○ どろ

問12 海や湖の底にできた地層が、長い年月の間に陸上に現れるのは、地層がどのようになるからですか。

- ○ 下からおし上げられるから
- ○ 水に溶けて浮き上がるから
- ○ 風で削られて軽くなるから
- ○ 火山の熱でふくらむから

問13 でい岩は、どのようなつぶが固まってできた岩石ですか。

- ○ どろなどの細かいつぶ
- ○ 砂などのすこし大きいつぶ
- ○ れきなどの大きなつぶ
- ○ 火山灰などの角ばったつぶ

問14 砂やどろが混ざった土を水に流しこむと、つぶの大きさによって沈む速さがちがうため、どのようなものができますか。

- ○ 大きな一つの岩
- ○ しまもよう
- ○ 水がすべてなくなる
- ○ つぶがすべて溶ける

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう